

コード	102040101
記入日	H26.5.26

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	釜崎 儀弘

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	外国語指導助手招致事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	10
施策コード	102	施策名称	しまの交流ネットワークづくり	項コード	1
基本事業コード	10204	基本事業名称	国際感覚豊かな人材の育成	目コード	2
事務事業コード	1020401	事務事業名称	外国語指導助手招致事業費	細目コード	956
関連計画			法令・条例規則等		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 町立小・中学校児童生徒数	(対象指標1) 1,664人					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・平成25年度においても、引き続きALT 4名体制にて各小中学校及び幼稚園へ派遣し、外国語(英語)教育、国際理解教育の充実を図ることができた。	*****	*****	*****	ALT契約者数÷ 予定者数	*****
		① (達成率分析)	4人	100.0%		平成25年度
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・国際化社会に対応した教育の推進の一環として、外国語(英語)教育、英語活動の充実に資するとともに、国際理解教育の一層の推進と国際感覚に優れた人材の育成を図る。		*****	*****	*****	授業日数÷ 授業計画日数	*****
		① (達成率分析)	720日	90.0%		平成25年度
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 人	4	4	4	4	4				
	②									
成果指標	① 日	800	720	720	800	720				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	176,900	176,515	156,701	20,199	19,814				
直接事業費 A	千円	170,600	170,215	151,101	19,499	19,114				
人件費 B	千円	6,300	6,300	5,600	700	700				
内 従事職員数	人	0.9	0.9	0.8	0.1	0.1				
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の財源内	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
訳 一般財源	千円	176,900	176,515	156,701	20,199	19,814				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	国際化社会への人材育成には欠かせない事業である。生の英語に接することにより、外国語(英語)に対する不安の解消が図られ、学習意欲の向上にもつながり、国際理解を深めるためにも大変重要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	児童生徒の外国語(英語)に対する興味も深まり、英語に対する苦手意識もなくなり、英会話力も向上している。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	小学校での英語が必修科目となっていることや、今後幼児期の英語教育が益々重要視されることが考えられるため、幼・小への派遣回数の増加も検討されている。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	児童生徒の国際理解を図る以外に、ALTは地域での活動にも積極的に関わっており、一般住民への効果も期待でき、費用以外での効果が期待されている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	4名のALTを幼稚園、小中学校19校に派遣しており、人数を削減すると派遣に著しく支障をきたす。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	必要最小限の予算で事業を行っており、これ以上の削減はできない。

2次評価	国際社会で活躍する人材を育てる外国語教育の推進に向け、幼児期の英語教育が今後ますます重要視されていることから、幼稚園・保育所までの派遣回数の増加について可能な限りALTの有効活用を検討し、事業の成果をさらに向上させること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●			このまま事業を継続		●		事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●			このまま事業を継続																														
		●		事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。